

第22回 金沢市用水保全審議会

日 時：平成17年10月12日（水）午後1時20分～5時

場 所：河原市用水視察、花園公民館（意見交換会）、鞍月用水視察

[意見交換]

会 長 ありがとうございます。先の予定日は台風のため延期ということで、お陰様で本日視察を行うことができました。

 今日から新しく4名の委員をお迎えしました。みなさんといっしょに用水保全について審議していきたいと思います。

 それでは、事務局から簡単に資料について説明をお願いします。

事務局 説明

会 長 それでは今の資料説明に対するご意見、ご質問、あるいは視察を終えての感想などお願いいたします。

 私も河原市用水は初めて見ましたが、私が子どもの頃は水の争いが絶えないところだったと思いましたが、今は農業用水として福久一帯あたりまで潤しているということです。

委 員 資料の2ページの図の見方について教えてください。

事務局 説明一市の中心部から郊外部へ指定対象の範囲が変遷している

委 員 河原市用水の延長が10.2kmというのはどこからどこまでですか。

事務局 森下川の取入口から津幡川の放流口までの距離です。

委 員 津幡町地内の区間も含めて保全指定ということになるのですか。

事務局 金沢市の行政界までの区間について対象となります。

委 員 どちらかという、これまでの保全用水は街づくりの中で保全整備が必要な用水でしたが、河原市用水は今が十分綺麗で、そのまま保全すればよいという感じですね。

委 員 郊外部の用水として機能面などはどうですか。

事務局 もっぱら農業用水として農林側で整備管理されています。市街地を流れる用水とは違った側面をもっていますが、農業用としての機能が大きいです。

委 員 今後、保全指定をどの程度まで広げていくのかということも検討が必要ですね。

委員 金沢の用水では、草刈りなどの管理はどこが行っていますか。

事務局 市街化区域内の用水については主に市の内水整備課が、調整区域内については農林基盤整備課と土地改良区が行っています。

委員 これまでの保全用水の中で、河原市用水と似た農業用水の色が濃いのはありましたか。

事務局 小坂用水や樋俣用水が比較的似ています。

委員 河原市用水は思ったより綺麗でした。このままでも十分に指定に値する用水だと思います。

委員 用水沿線には住宅も密集しておらず、周囲の緑に溶け込んでいた。地域の人たちが用水沿いを安心して歩けるようにするというのは良いと思います。ただ、綺麗にしすぎるのは良くないと思います。ほどほどの整備が良いと思います。

委員 他と比較できませんが、やりすぎない整備が良いと思います。

委員 農業用水としての色が濃いので、都市とは違う整備のあり方があると思います。

委員 深谷川から合流点にあった水門はどういう使い方なのか。長坂用水もそうだが、用水の片側が山で反対が谷となっていると、山側からの雨水排水を用水路がキャッチしその処理もしなければならない。河原市用水も同じようなかんじですがどうですか。

事務局 深谷川の合流点より少し下流側に放水門があります。洪水時に深谷川からの流水が用水取入口側へ逆流しないようにするための水門だと思いますが、再度、調査し確認します。

委員 農業用水ということですが、保全目的には年間通水も考えていますか。

事務局 年間通水は確保したいと考えています。

委員 300haの農地ということですが、かなり綺麗に手入れされていて、そういう農地があって用水が流れている。そういう土地利用や整備もあって良いと思う。

委員 宅地化も徐々に進んでいる中、3方張りもされてきたが、さらに都市化が進んでいく将来を考えると、市街地の用水と同様の管理も考えていくことが必要ですね。

委 員

今、ホタルはどうですか。

事務局

上流部にいるようです。

委 員

3方張りの水路は管理するには良いが、環境面では良くない面もある。

委 員

魚は見られませんでしたね。

委 員

地域の自然を活かすことが必要ですね。あまりいじりすぎない方が良いと思います。

会 長

それでは、概ね意見も出尽くしたようですので、意見交換はこのあたりで終わります。

事務局

今年度の事業概要説明。

それでは、視察の後半、鞍月用水へ向かいたいと思います。ありがとうございました。